

秋田県大潟村

基本情報

- 気候：日本海型気候
近隣と比べて降水量が少なく、日照時間が多い
- 土質：排水の悪い重粘土質
- 従事人数：2人(家族のみ)
- 臨時雇用：130人・日

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	19ha	1.17ha
加工用米(直播)	10ha	1.2ha
加工用米(移植)	6ha	1.3ha



無人ヘリによる農薬散布作業

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 所有水田の集積(30haと5haの2カ所に集積することによる管理作業の効率化)
- 品種(あきたこまち、たつこもち等)と移植・直播の組み合わせにより、春秋の作業期間を拡大
- 直播栽培の導入による育苗作業の軽減
- 繁忙期の雇用利用(同じ男性に依頼)

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 肥料
 - ①省力化のため、移植栽培の基肥は全量苗箱まかせ、追肥は流し込み法を実施
- 農薬
 - ①最小限の使用(いもち病1回、除草剤1~3回)とし、散布は無人ヘリ業者に作業委託
- 機械
 - ①8条の多用途田植機により、1台で移植と直播を実施
 - ②乾燥調製は、カントリーエレベータを利用

※適用条件：平均区画1.25ha(95m×132m)、均平は2~3年間隔でレベラー使用、用水量は問題なし

導入効果

- 施肥
 - 肥料費 同等
 - 労働時間 ▲約6割
(基肥全層施肥+追肥との比較)
- 防除
 - 防除回数の削減及び散布作業委託により
 - 農薬費 ▲約2割
(散布作業は全て委託)

支援体制

- 肥料・農薬・機械等に関する新技術については、周囲の農家・JA・各メーカー等から情報入手

課題・今後の目標

- 所有している農業機械は、稲作専用であるため、畑作や野菜には取り組まない
- 臨時雇用の確保が難しくなっているため、労働力の安定確保を目指す